

「この子にだけ特別なことはできません」

～特別なことではない 特別支援教育を目指して～



教育随想

愛知県立岡崎特別支援学校長
吉村 匡 氏

冒頭の言葉は、ある小学校の担任の先生が電話口で私に告げられた一言です。当時、私は愛知県総合教育センターで特別支援教育に関する教育相談を担当していました。

小学校二年生の男子児童の相談を進める中で、学校の先生に直接お話ししたいことができ、夕刻にお電話し、その子のために少し面倒な依頼をしてしまいました。

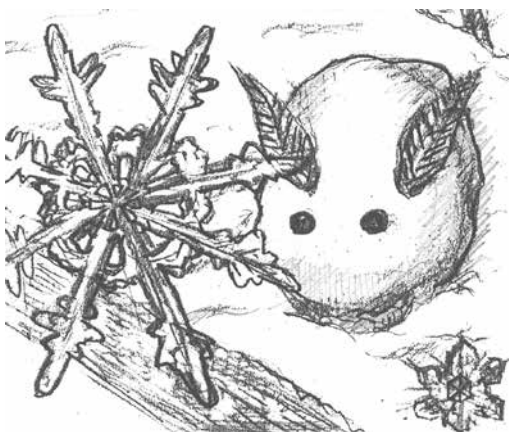
その子は注意力が散漫で、耳で聞いた情報を的確に文字にして連絡帳に書くことが苦手でした。結果として、忘れ物が多く授業にも支障をきたし、教室内を立ち歩いたり、注意されて逆に怒り出したりすることもありました。また、指先がそれほど器用ではないため、道具箱の整理も苦手で、家庭へのプリントもくしゃくしゃになったり失ったりしていました。発達に関する検査等を実施した結果、その子の苦手が明らかになりました。「頑張れ」という言葉の励みだけでは改善が難しいことが分かかってきていました。私が担任の先生にお願したのには、「翌日の持ち物を書きするか、メモにして本人に渡してほしい」、「透明ファイルを持参するので、配るプリントの左下の隅に赤い丸印を書いてほしい」というもの

でした。透明ファイルにはあらかじめ左下に赤いシールが貼ってあり、配られたプリントの赤い丸と合わせることで、紙が折れ曲がることのないようにするものでした。

担任にしてみれば、忙しい夕刻に、突然教育センターの人間が電話をしてきたと思つたら、特定の児童について特別なことをしてほしいと一方的に言われて不愉快だったこととかわるべし。

私は既に何件も同様の対応にあつてきていましたので、「そこを何とかお願いします。先生の御支援があれば彼は忘れ物がなくなり、プリントも確実に家庭に届きます」と続けました。本人に悪気がないこと、発達の過程のつまりさであることを伝え、何とか了承してもらえました。

二週間後にその先生から電話が入りました。「この二週間忘れ物がなくなりました。プリントも綺麗に扱えるようになりました。何かほかにかんじることがあれば教えてくれませんか」私は嬉しくなって「書字の際に鏡文字になるので見本を左ではなく上に置いて書き写すように……」「どの教科でも、読んでいる場所が途中で分からなくなりますが、窓を開けた厚紙を持たせるので、読んでいる場所に



当ててスライドさせるように……」等々伝えました。

今ではその先生は地域の特別支援教育のリーダーとして活躍してみえます。子供たちに教科学習を分かりやすく伝える技術は言うまでもなく、小・中学校の先生の方が得意です。授業における分りやすさをとことん追求する中で、特別ではない特別支援教育の在り方を極めていただきたいと思います。

(よしむら ただし)



平成 29 年 12 月 1 日

12月号

発行・編集
岡崎市教育委員会

今月の紙面

- 教育随想…………… 1
愛知県立岡崎特別支援学校長
吉村 匡 氏
- この人に聞く…………… 2
「岡崎演劇集団」団員
杉浦 英憲 氏
- 羅針盤…………… 2
豊富小学校長 山口 明則
- ふれあい…………… 3
緑丘小学校 佐藤 諒
- 特集…………… 4
岡崎げんき館
市民の健康発信基地
- お知らせ…………… 6
- フォト・ヒストリー…………… 8
完全給食の開始
(昭和 32 年)
- この本を…………… 8



演劇を通して人を元気に

「岡崎演劇集団」団員

杉浦 英憲 氏

感情の入った演技で観る者を舞台の世界へと引き込んでいく。杉浦氏は昭和四十四年三月に旗揚げした岡崎市唯一の劇団「岡崎演劇集団」の創設メンバーである。

杉浦氏と演劇との出会いは高校で行われた観劇会だった。

「大学に入学して、初めは人形劇をやっていました。でも、高校のときに観た劇が忘れられなくて、途中から演劇部に移りました。半世紀以上前に観た劇のことを今でも覚えていて、なんて自分でも不思議に思います。」

演劇への思いは大学卒業後も続く。「卒業後、岡崎に新しい劇団を作る

ことになりました。劇団『歩みの会』を主宰していた浅井克彦さんと共に旗揚げしたのが始まりです。当時は安城の勤務校から岡崎の稽古場へ行って稽古をして、刈谷の自宅へ帰る生活でしたね。」

「仲間と舞台を作る達成感や演じる喜びは、初演の時と変わりません。生きがいです。」

教師としての喜びもある。

「障がいのある教え子が一人で公演を観に来るうちに友達ができ、一緒に来るまでに成長しました。うれしかったですですね。」

しかし、劇団を続けるのには、様々な苦労もあったという。

「運営資金は団員で出し合い大道具や衣装などはほとんど手作りしました。一回の公演に掛かる費用が安くて他の劇団の人に驚かれましたね。」

稽古場の確保も難しかった。

「お寺や廃館した映画館を転々としていました。何とかしたいと、資金を出し合い、鴨田南町に現在の稽古場を建てました。」

稽古場で始めた『子ども劇場』では、中高生の団員も活躍する。中には不登校だった子供もいる。

「笑わない無口な子が団員と一緒に練習するうちに、だんだん笑顔と自信



を取り戻しました。その子が今度の『注文の多い料理店』で主役を演じます。活動を通して不登校を克服し、高校へ進学した子たちもいます。どの子も演劇をやっていると、元気になるんです。」

旗揚げから四十八年。団員の高齢化や脚本家の不在など課題も多い。しかし、他の劇団にも応援を頼み、公演を毎回成功させている。

「今の一番の目標は、二年後にある五十周年記念公演を成功させることです。舞台を観た人が生きる喜びを感じたり、明日も元気に頑張ろうと思ってくださったりすれば嬉しいです。観た人に、力が湧いてくるようなものをやりたいんです。だから悲しい芝居はやりませんよ。」

演劇を通して、人を元気に。杉浦氏の柔和な笑顔が一段と輝いた。

氏名 すぎうら ひでのり
生年月日 昭和十九年五月十七日
住所 岡崎市元欠町



持続可能な社会の 創り手を育てる

豊富小学校長

山口 明則

「一〇〇年前の女の子」（講談社）という本がある。御存じだろうか。この本の話は、明治四十二年に生まれた寺崎テイが語った思い出話を、テイの娘がまとめたものである。

私の祖母は明治四十三年生まれだったので、まさにテイと同時代を生きた女性である。私は幼い頃、祖母の思い出話をよく聞いて育った。祖母は新城市の作手の生まれで、山口の家は電気がきていて夜も明るく仕事ができるよいところだと言われ、一度も会ったこともない夫のところへ嫁いできたと話していた。そうしたことは当たり前だったし、作手はまだランプの生活だったそうだ。今からほんの九十年前の話である。

昭和三十年代、私は祖母の話が聞きたくて、小学校に入学するまで祖母と一緒に蚕を育てる部屋で寝ていた。当時、私の家の前の道路は舗装もさ



本当のリーダーになるために

緑丘小学校

佐藤 諒

「最後の大会で優勝するために必要なのは、全員が同じ目標に向かって、同じ気持ちで練習に取り組むことだ。そんな本当のチームを目指そう。」と話して、男子バスケットボール部の新チームをスタートさせた。

A男は運動能力が高く、技術もある。昨年から試合に出場していたこともあり、他の仲間から認められていた。彼なら本当のチームを作れると考え、キャプテンに任命した。

しかし、うまくいかなかった。子供たちの個性がみあわず、A男の自己中心的な個人プレーが目立った。声を掛け合う雰囲気すらなかった。気が付いたA男がまとめようとしても、ばらばらなままだった。徐々にやる気を失っていくようになった。

二月の敗戦後、A男にはリーダー

として、チーム全体を見る目を養ってほしいと考えた。ゴール付近で、プレーするセンターのポジションから、周りをよく見て、試合をコントロールするガードに抜擢した。

「チームの司令塔として、ガードをやってみなさい。一人一人の特徴をよく見て、メンバーのいいプレーを引き出さない。」

A男は不安そうな表情で、「ガードは、やったことがないので心配です。でも、やってみます。」と、そのコンバートを受け入れた。

しかし、A男の不安が的中した。ポジション変更後も、結果が出ない。試合では、仲間を頼らずに一人でボールを運び、ボールを失う場面が続いた。A男の不調はチームにも伝染し、今まで勝っていた相手にも勝てなくなっていた。

コミュニケーションが大切と考え、「練習が止まったとき、プレーが止まったとき、とにかく集まって、みんなと話をしなさい。」

と話した。A男の表情は曇っていた。何を話したらいいか分からないようだった。そこで、集中を促すための「リバウンド」「デフェンス」「ルーズボール」の呼び掛けから始めさせた。最初は声小さく呼び掛けの回数も少なかった。それでも、声を掛ける仲間が応えてくれた。声が大きく

なった。回数も増えた。それと共に仲間の動きが見られるようになった。試合後も自分から仲間に近付き、意思を伝え、相手の思いをじっくり聞くようになった。A男の顔はもう曇ってはいなかった。

最後の大会の決勝戦を迎えた。試合中、A男の声が響く。A男だけでなく、メンバーはもちろん、ベンチから、応援席から一つ一つのプレーに声が掛けられる。全員が同じ気持ちで、同じ目標に向かう、本当のチームになれたゲームとなった。そして、念願の優勝を勝ち取ることができた。

試合後、A男はチームの輪の中心で、こう話した。

「キャプテンとして最初は何にもできなかったけど、みんなが助けてくれたおかげで頑張れた。このチームでバスケができて本当によかった。ありがとうございました。」

一年前よりも、ずっとたくましくなった笑顔があった。



れていなかった。林業がまだ盛んで、材木を山ほど積んだ三輪トラックが、砂煙をあげて走っていた。今からほんの五十年前のことである。そして、その後の日本の社会の発展と変化は、本当にすさまじかった。

持続可能な開発のための教育（ESD）という言葉は、今回の新学習指導要領でもあまり前面に出てこないが、前文に「様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる」とあり、ESDの考えがすべての根底にあることが分かる。祖母や私が生きてきた時代も社会は大きく変化してきしたが、その変化の仕方はこれからもっと急速で、先が見えない。そんな未来社会を生きぬく力、社会を持続させるための力を、子供たちに身に付けさせなくてはならない。そのため、まずは各学校の総合的な学習の時間の探究課題の設定が必要である。この探究課題とは指導計画の作成段階において各学校が定めるものであり、次年度からの移行措置の実施に向けてこれまでのものを安直に続けるのではなく、この機にぜひ新たな目で見直したい。

「一〇〇年前は……、へー、そんなだったんだ」と、今の子供全員が笑って話せる豊かな社会を創る力を育むこと、それが教師の使命である。



岡崎げんき館 市民の健康発信基地

▲ げんきまつりのAEDブースで行われた「AEDの紹介」

「岡崎げんき館」は、平成二十年「市民の健康づくりのきつかけに」との思いのもと設立された。来年三月に、ちょうど十周年を迎える。

「岡崎げんき館」は岡崎市、岡崎げんき館市民会議、岡崎げんき館マネジメント株式会社の三者で運営されている。昨年度は三十四万人が利用しており、当初の年間利用者想定数の十五万人をはるかに上回っている。人気の秘密は公共施設ならではの低料金と安心感、魅力的なコンテンツである。健康に対する行政の施策と、民間の施設管理のノウハウがうまく融合し、健康づくりに最適な場所をつくり上げた。

内部は、健康づくりゾーン、市民交流ゾーン、子ども育成ゾーン、保健衛生ゾーンの四つに分かれている。

保健衛生ゾーンには、岡崎市保健所が入っており、乳幼児健診をはじめ、市民の健康を促進するための取り組みが実施されている。児童・生徒との関わりも深い。保健所職員が学校に向いて薬物乱用防止、自殺予防、思春期保健などの講座や就学時健康診断での生活習慣の講話を行っている。さらに食育推進のための『まめ吉通信』も配付している。「岡崎げんき館」の中で活動と共に、施設の外でも、健康な市民の育成に貢献している。

市民の元気の素として「岡崎げんき館」が果たす役割は大きい。

十周年を前に新たな十年に思いを馳せ、生涯スポーツのきつかけ作りの場としての役目から、地域での指導者育成の場へと、ステップアップを目指す。

「岡崎げんき館」の営みが更なる充実を遂げ、岡崎市民の健やかな生活に寄与し続けることを願ってやまない。

げんきまつり

健康づくりを喚起するイベントとして、年4回行われる「げんきまつり」。げんき健康横丁（館内各ブース展示）や健康広場スポーツイベントなどが催されている。



▲ フットサル指導者によるキックターゲット



▲ 歯科医師会ブースでの初期虫歯対策ガムの配付



▲ 座ってできる「まめ吉体操」の講習



▲ まめ吉と踊ろう



岡崎市健康・食育キャラクター「まめ吉」です。名前は市民公募で、まめに暮らせるようにという意味と名前の響きから決まりました。「まめ」は、三河弁で元気、健康を意味します。

保健衛生ゾーン

《岡崎保健所》

健康衛生ゾーンに入っている岡崎市保健所を中心に「健やかで心豊かなまちおかざき」の実現に向けて、健康なまちづくりを推進している。職員が市内小中学校に出向いて行う「出前講座」では、薬物乱用防止や歯の健康、心の健康についての講話を行っている。また、第3次岡崎市食育推進計画に基づき、食の方面からも健康づくりを行おうと、様々な取り組みが実施されている。おかざき健康・食育だより「まめ吉通信」も、その一つである。



▲ 薬物乱用防止教室(根石小)

「薬物乱用防止教室」児童感想
・危険ドラッグを誘われても、きっぱりと断る勇気をもちたい。
・薬物は一度使ったらやめられない怖いものだということがよく分かりました。



▲ 学校保健委員会(美合小)
「今日からできる健口づくり
～正しい歯みがき習慣を身につけよう～」

「今日からできる健口づくり」児童感想
あいうべと口を動かす『あいうべ体操』が虫歯や風邪予防やアトピー予防にもなると聞き、やってみようと思いました。



▲ 市内幼稚園保育園年長児と小中学生に配付される「まめ吉通信」

岡崎げんき館
若宮町2丁目1番地1
TEL21-1230



市民交流ゾーン

調理実習室では、「岡崎げんき館市民会議」主催の親子クッキングが年に3回ほど行われる。



▲ 親子クッキング

健康づくりゾーン

運動指導士による運動相談だけでなく、管理栄養士による栄養相談、保健師による保健相談など、多面的に健康づくりをサポートしている。



▲ トレーニングジム

子ども育成ゾーン

保育士が常時待機しており、発育や発達の相談にのる。病気回復期の子供を預かるサービスもある。



岡崎げんき館
副統括責任者
鬼頭卓也氏

どなたでも気軽に健康づくりをしてほしい、そのお手伝いをする場がげんき館だと思っています。健康相談にいらした方の体型が健康的に変わっていくのを目にするのは、一つの喜びであります。今後も、市民の健康に役立っていきたいと思っています。

<げんき館利用者の声>

- ・スタッフからこちらに声をかけてきてくれてとても話しやすい。
- ・年齢層が幅広く、いろいろな情報交換ができ、なじみやすい。
- ・利用者同士のコミュニケーションが盛んで、マシンの補助などをスムーズに行うことができる。
- ・料金が安く、軽い気持ちですぐに始められやすい。



● 教育最新情報

◆ 第四十五回教育文化賞

本年度は、個人十二点、団体二十四点、合計三十六点の推薦申請があつた。選考委員による厳正な審査の結果、次のとおり、個人二点、団体二点が受賞した。

〔個人〕

鈴木 忠 氏

郷土の未来を担う子供たちの育成

小嶋 和晃 氏

書道文化活動の推進と交流

〔団体〕

こどもネット六ツ南

学区一体となった子供への支援活動

矢作北小学校区ふるさと米作り活動支援隊

米作りを中心とした郷土学習への支援活動

○ 授賞式 記念講演

今年度の教育文化賞授賞式と記念講演は、十一月十一日(土)に岡崎市総合学習セン

ター大ホールで行われた。いずれの受賞者も、岡崎市の教育文化への貢献が大きく、今後のさらなる活動が期待されている。

また、授賞式後、「四季の会・秋」研修会も兼ね、数学者で大道芸人でもあるピーター・フランクル氏より「人生を楽しくする方程式」と題して、記念講演をいただいた。多くの教員がピーター・フランクル氏の講演を聞き、楽しい雰囲気の中、研修を深めることができた。



▲ 教育文化賞授与式

● 表彰

◆ 日本学校合奏コンクール2017 グランドコンテスト

○ 中学校の部 管弦楽部門
銀賞 美川中学校
銅賞 城北中学校
福岡中学校

◆ 日本学校合奏コンクール2017 ソロ&アンサンブルコンテスト

○ 中学校の部
アンサンブル部門
銀賞 竜海中学校
城北中学校

・ ソロ部門

銀賞 竜海中 橋本真優

◆ 日本管楽合奏コンテスト全国大会

○ 中学校A部門 六ツ美中学校
優秀賞 美川中学校
○ 中学校B部門 北中学校
優秀賞

◆ CBCこども音楽コンクール 中部日本決勝大会

○ 小学校管楽合奏部門 最優秀賞(全国大会出場) 竜美丘小学校

○ 小学校合奏第一部門 優秀賞 矢作北小学校

○ 管楽合奏部門 最優秀賞(全国大会出場) 北中学校

○ 中学校合奏第一部門 優秀賞(二位) 城北中学校

○ 中学校合唱部門 優良賞 竜海中学校

○ 中学校重唱部門 優良賞 竜海中学校

○ 中学校重唱部門 優良賞 竜海中学校

○ 小学校合唱部門 最優秀賞(全国大会出場) 梅園小学校

○ 統計グラフ全国コンクール 第三部(小学校五・六年生) 佳作 竜美丘小 山本愛結

◆ 日本学生科学賞愛知県展 最優秀賞愛知県教育委員会賞 甲山中 中根綾乃

○ 学校花壇部門 優良賞 細川小学校 形埜小学校

○ 《付帯事業》 東山植物園花壇設計図コンクール(春) 東山植物園賞 形埜小学校

○ 《付帯事業》 東山植物園花壇設計図コンクール(秋) 東山植物園賞 形埜小学校

○ 学校花壇の部 優秀賞(中部慈善銀行賞) 上地小学校

○ 学校花壇部門 優良賞 細川小学校 形埜小学校

◆ 愛知県少年消防クラブ表彰 特別に優良な少年消防クラブ表彰 城南小学校 宮崎小学校

◆ 愛知県少年消防クラブ運営指導協議会表彰 優良少年消防クラブ指導者表彰 常盤東小 鈴木康子

◆ 愛知県少年消防クラブ作品コンクール ポスターの部

◆ 愛知県中学校力又大会 女子総合の部 優勝 新香山中学校

◆ 愛知県中学校力又大会 男子K-1 二位 新香山中 栗田海青

◆ 愛知県中学校力又大会 男子K-2 三位 新香山中 市川雄都

◆ 愛知県中学校力又大会 男子C-2 二位 新香山中 山本大

◆ 愛知県中学校力又大会 男子C-1 三位 新香山中 井原峻汰

◆ 愛知県中学校力又大会 男子K-4 三位 新香山中 栗田海青

◆ 愛知県中学校力又大会 男子K-4 三位 新香山中 市川雄都

◆ 愛知県中学校力又大会 男子K-4 三位 新香山中 有馬司愷

県消防協会会長賞 梅園小 榎本陸人

◆ 「家庭の日」啓発ポスター 最優秀賞 大樹寺小 足立 萌

◆ 「家庭の日」啓発ポスター 優秀賞 大樹寺小 後藤舞帆

◆ 愛知県中学生英語弁論大会 最優秀賞 矢作中 パネル・チサト・ジアンネ

◆ 岡崎市食育ポスターコンクール 最優秀賞 梅園小 島 遥日

◆ 岡崎市食育ポスターコンクール 優秀賞 根石小 太田翔也

◆ 防火作品展 習字の部 岡崎市長賞 葵中 志水緑芽

◆ 防火作品展 岡崎市教育委員会賞 岡崎市教育委員会賞 矢作中 織田知笑

◆ 防火作品展 ポスターの部 岡崎市長賞 常盤中 酒井日菜乃

◆ 防火作品展 岡崎少年消防クラブ運営指導協議会長賞 岡崎少年消防クラブ運営指導協議会長賞 額田中 深瀬茉莉

◆ ちゅうでん教育大賞 教育奨励賞 梅園小学校

◆ 愛知県中学校力又大会 男女総合の部 二位 新香山中学校

◆ 愛知県中学校力又大会 女子総合の部 優勝 新香山中学校

◆ 愛知県中学校力又大会 男子K-1 二位 新香山中 栗田海青

◆ 愛知県中学校力又大会 男子K-2 三位 新香山中 市川雄都

◆ 愛知県中学校力又大会 男子C-2 二位 新香山中 山本大

◆ 愛知県中学校力又大会 男子C-1 三位 新香山中 井原峻汰

◆ 愛知県中学校力又大会 男子K-4 三位 新香山中 栗田海青

◆ 愛知県中学校力又大会 男子K-4 三位 新香山中 有馬司愷

- 女子K―4
優勝 新香山中
浦垣妃麗 鈴木彩耶
緒方ゆな 澤田智花
- 女子K―4
二位 新香山中
鈴木彩音 中村心咲
久門莉子 恩田珠央
- 女子K―4
三位 新香山中
石川沙羅 後藤あいみ
森 朱里 小久保花楓
- 女子WK―1
二位 新香山中
荒井悠那
- 女子WK―2
優勝 新香山中
緒方ゆな 澤田智花
- 女子WK―2
三位 新香山中
後藤あいみ 森 朱里
- ◆愛知県中学生バレーボール
新人大会
二位 翔南中学校
- ◆県中学生バレーボール新人
大会(男子)
三位 矢作中学校
- ◆県中学生新人柔道大会(男子)
三位 矢作中学校
- ◆全国小学校ラジオ体操コンクール
ラジオ体操
銀賞 大門小
「チーム燃え上がれ大門」
敢闘賞 大門小
「チーム輝け大門」
奨励賞 大門小
「チームスマイル」
「チーム体育委員会」

第50回 岡崎市中学校新人総合体育大会

種目	性	優勝	第2位	第3位
陸上競技	男子	六ツ美	六ツ美北	美川
	女子	矢作	竜海	六ツ美北
バスケットボール	男子	葵	竜海	矢作北 翔南
	女子	葵	竜海	翔南 福岡
バレーボール	男子	矢作	矢作北	北 竜南
	女子	翔南	六ツ美	矢作 常磐
ソフトテニス	男子	城北	矢作	東海 常磐
	女子	六ツ美北	矢作	六ツ美 城北
卓球	男子	翔南	矢作	常磐 城北
	女子	北	新香山	岩津 葵
新体操	女子	碧南市立南中	東海	碧南市立新中

種目	性	優勝	第2位	第3位
剣道	男子	矢作北	北	葵 福岡
	女子	矢作	矢作北	六ツ美北 葵
ハンドボール	男子	竜南	美川	六ツ美
	女子	高浜市立高浜中	高浜市立高浜中	高浜市立高浜中
軟式野球	男子	翔南	城北	葵 甲山
ソフトボール	女子	甲山	葵	城北 北
柔道	男子	矢作	甲山	矢作北
	女子	城北	竜南	矢作
サッカー	男(女)	竜海	矢作北	翔南 六ツ美北
弓道	女子	幸田B	額田A	幸田A
水泳	男子	矢作	葵	竜海
	女子	矢作	甲山	東海

個人競技(1位記録のみ)

水泳

種目	男子			女子		
	氏名	学校	記録	氏名	学校	記録
50m自由形	戸村 圭佑	城北	27"87	鈴木 日菜	北	30"23
100m自由形	石川 蒼士	矢作	1'01"69	稲吉 爽	葵	1'05"23
200m自由形	小林 夢翔	竜南	2'09"52	片山 琴葉	甲山	2'21"62
50m平泳ぎ	谷 一輝	矢作北	35"12	秋田 実和	新香山	40"10
100m平泳ぎ	成瀬 叶来	新香山	★1'09"81	鈴木はるな	矢作北	1'23"78
50mバタフライ	河田 理央	竜海	30"21	石田 優依	矢作北	32"13
100mバタフライ	鈴木 逸心	東海	1'09"97	漆山 桃子	竜海	1'15"89
50m背泳ぎ	山本 壮駿	北	32"29	宮島 颯希	矢作	35"00
100m背泳ぎ	朝倉 悠斗	甲山	1'10"16	西村 優奈	福岡	1'12"15
200m個人メドレー	築山 幸石	矢作	2'28"56	伊東 奏音	岩津	2'46"84
400m R	浅香 成瀬 丹羽 小西	新香山	4'11"97	水越 宮島 竹田 山下	矢作	4'30"09
400mメドレーリレー	築山 脇田 太田 石川	矢作	4'30"95	竹田 宮島 山下 蛭海	矢作	5'13"00

★印は大会新記録 タイは大会タイ記録

柔道

男子	氏名	学校	女子	氏名	学校
軽量級	神谷 至恩	東海	軽量級	黒木 悠里	矢作
軽中級	中田 俊哉	矢作北	軽中級	野村 莉音	城北
中量級	岩尾 直輝	矢作	中量級	川崎 想空	城北

陸上

性	種目	氏名	学校	記録
男	100m	山下 侑牙	竜海	11"47
	200m	田原 慧人	六ツ美	24"08
	400m	太田 悠斗	南	55"58
	800m	早川 恭介	岩津	2'17"91
	2年1500m	今泉 伯斗	美川	4'34"42
	3000m	正重 天	六ツ美北	9'37"52
	110m H	佐川 博也	六ツ美北	16"74
	4×100m R	柴田②・伊藤② 高橋①・松本②	矢作	47"32
	走幅跳	鈴木 空也	六ツ美	5m76
	走高跳	田中 鉄馬	城北	1m70
女	砲丸投	西川 大貴	六ツ美	8m80
	棒高跳	吉村 亮祐	六ツ美北	2m50
	100m	土居 心愛	竜海	12"68
	200m	土居 幸愛	竜海	26"40
	800m	小山 愛結	六ツ美北	2'24"31
	1500m	衣川 陽菜	甲山	4'58"20
	100m H	齋藤 未来	矢作	15"75
	4×100m R	鈴木②・土居心① 手島①・土居幸②	竜海	50"56
	走幅跳	永松 ちずる	翔南	4m76
	走高跳	野村 美咲	福岡	1m50
砲丸投	鈴木 彩香	城北	9m75	

★印は大会新記録

・カ
ツ
ト
新香山中 杉浦 貴恵

完全給食の開始 (昭和32年)

写真提供：六ツ美南部小学校

昭和二十六年二月、岡崎市の小学校は自校方式で完全給食が開始された。遅れること六年、昭和三十二年九月九日に、六ツ美南部小学校も給食実施が始まり、今年でちょうど六十年目となる。写真は当時の学校給食の様子である。

パンと脱脂粉乳と主菜が給食用布巾の上で置かれている。当時の献立には、今は見ない「鯨肉たつき揚げ」や「カレー汁」など今と同じものもあった。献立の種類は少ないが、学校給食法の目的「心身の健全な発達に資するもの」に則り、それぞれに工夫が加えられていた。

写真の当時は各学校で調理されていた給食も、現在は、四か所の給食センターで調理され、市内の小中学生に提供されている。子供たちにとって、今日の献立は一日の楽しみの一つである。



ホールから出てくる観客と、衣装のまま笑顔で会話を交わし見送る杉浦氏の姿は、温かい人と人とのつながりの中で輝いていた。演劇によって多くの人と縁ができ、仲間たちとの絆が生まれる。杉浦氏のように、人を元気にする温かな教師でありたい。

トレーニングのため、白い息を吐いて「岡崎げんき館」に通う人の表情は明るい。

健康な体に健康な心が宿る。体力増強、心と体の健康維持を目指して、さあ早速始めよう。自らの生活習慣を見直し、元気な姿で子供たちの前に立とう。

とホ ツ

師走



校内長距離継走大会 (美川中)

つまずきを成長につなげるためには、周囲の寄り添いと声掛けが必要だ。

司令塔として、コートの中を生き生きと走り回るA男は、家族や仲間の応援、教師の声掛けに支えられ、輝きを増した。

子供にとって教師の言葉は大きい。私たちの責任は重い。



* 「司馬遼太郎」で学ぶ日本史 磯田 道史
NHK出版 ￥780

心に残った一文
共感性と自己確立—この司馬さんの問いかけは、いま、私たちに、とても大切なものとして響いています。

司馬文学の真骨頂、「竜馬がゆく」「翔ぶが如く」「坂の上の雲」は、長編にもかかわらず、一気に読み切ることができる。

筆者は、司馬がこれらに描いた主人公の共通点は、世の人々の真の幸せ思い描き、自分の考えや将来の展望をもって突き進む、自己確立した人物だという。また、司馬文学の歴史観の根幹をなすものは、先の戦争で死線をさまよった、司馬自身の経験によるものと分析している。

歴史や歴史小説好きだけでなく、明日を読み解くために、多くの方に手にしていただきたい一冊である。

- * 死ぬほど読書 丹羽宇一朗 ￥780
 - 幻冬舎
 - * 世界を動かす巨人たち 池上 彰 ￥760
 - 集英出版
 - * 本が好き 安野 光雅 ￥1,800
 - 山川出版
- 常磐小 荒井 留美